

消火ポンプ総合

充実のセフティエースシリーズ (一財)日本消防設備安全センター認定品

主な諸元

■標準仕様

形 式	KTT形	KTK-C形	KTK100M形	(高揚程)KTK-M形	KTGF形	KTGDF形	KTY形	KTU(2)形	
揚 液	清 水								
液 質	0~40℃								
液 温	0~30℃(3.7kW以下)40~35℃								
材 料	インペラ	SCS13	※	CAC406	CAC406又はCAC901	CAC702		CAC406	
	ケーシング	FC	FC	FC	吸込:FC 吐出し:FCD	FC	FCD	FC	
	種 類	全閉外扇屋内形(トッランナーモータIE3)③						キャンド式水中	
モータ	電 源	三相200V(90kW以上は400V)							
	極 数	2	2	2	2	4	4	4	
	始動方式	7.5kW以下:直入 11kW以上:スターデルタ							
使用の種類	S1(連続定格)								
設置場所	屋 内								
	ポンプ部: 水中最大水深さ10m								
構造	インペラ	クローズ							
	軸 封	メカニカルシール			グランドパッキン		バランス形メカニカルシール	グランドパッキン	オイルシール
	軸 受	密封玉軸受							
		密封玉軸受又はアンギュラ玉軸受						スローヘアリング、ラスト軸受	
フランジ	吸 込	JIS10Kうす形	JIS10Kうす形又は並形	JIS10K			JIS20K	JIS10Kうす形・JIS10K(高揚程)	—
	吐 出し	JIS10K			JIS20K	JIS10K	JIS20K	JIS10K・JIS20K(高揚程)	JIS10K
塗装色(マンセルNo.)	パーミリオン(7.5R4/14)								
	:(ポンプ部除く)								

※SCS13又はCAC406、CAC901 ③KTK-C形の11kW以上はS2定格仕様になります。
・特定施設水道連結型スプリンクラー設備用給水補助加圧装置KJD(N)2形についてはお問合せください。

■標準付属品(ユニットⅡ形の場合)

常時逃がしオリフイス	スルース弁付	吸込セット	呼水槽付の場合
チェック弁		連 結 管	
スルース弁	インジケータ付	可 とう 管	(一財)日本消防設備安全センター認定品
性能試験用配管	流量計、スルース弁付	呼 水 槽	呼水槽付の場合
圧 力 計	1.6級以上	制 御 盤	ECKD形
連 成 計	1.6級以上	起動用圧力タンク	スプリンクラー用の場合
フ ート 弁	呼水槽付の場合	SDK形吐出しセット	KTU(2)形のみ
相フランジ	1組(口径125以上及び、KTGDF形、高揚程KTK-M除く)		

- ① KTGDF・KTU形の場合には、フート弁が付属されません。
② KTU(2)形ポンプ単体の場合には、ポンプの他にSDK形吐出しセットが付属されます。
③ KTT形、KJD(N)2形の標準付属品、特殊仕様についてはお問合せください。
④ 基礎ボルトは特別付属品です。別途お買い求めください。

■特殊仕様例

モータ変更	例. SIMモータ
電圧変更	例. 400/440V、3,000/3,300V、6,000/6,600V
始動方式	例. コンドルファ始動、Vスター始動、双固定子電動機始動(特殊二次抵抗始動)
制御盤変更	例. P.498を参照ください。
吸込口変更	吸込方向が反対のもの(KTY、KTK-M形)
ステンレス呼水槽変更	※
公共建築工事標準仕様	漏電警報付、ステンレス呼水槽、ステンレスフート弁、赤指針付 ※
そ の 他	可とう管長さ変更、ステンレスフート弁、塗装色変更、主チェック弁スモレンスキバルブ

※KTT、KJD(N)2、KTY-MET、DPK2、VJK、KTU形は除く。

■認定番号一覧(P.527を参照ください)

■消火ポンプのトッランナー規制対応について

消火ポンプのトッランナー規制については、加圧送水装置の基準(平成9年消防庁告示第8号)の解釈に関する通知(消防予第137号)により、『ポンプ方式加圧送水装置等の試験基準及び判定基準他の一部改正について(案内)』が改正され、下記(1)又は(2)での対応が可能です。

- JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機 低圧トッランナーモータ)
 - ・プレミアム効率(IE3)モータで対応可能
- JIS C 4034-1(回転電気機械 第1部:定格及び特性)に定める使用形式S2-短時間使用
 - ・標準効率(IE1)+短時間使用(S2)モータで対応可能

**Pickup
Performance**
新技術基準対応
高機能制御盤

信頼の機能が、「今」に応えるため進化しました。

■高機能マイコン制御盤

●呼水槽・消火水槽・補給水槽の満水・減水回路を標準。

(補給水槽の満・減水検出を行う場合は特別付属品のレベルリレーが2ヶ必要です)
また、別売の自動点検用付属品を取付けるだけで、消火ポンプ性能チェックが自動的に行えます。



制御盤表示部

■高品質呼水槽

●高品質塗装

呼水槽は高品質粉体塗装によりサビ・キズに強く長期間の使用でも腐食等による穴アキの心配がありません。

●電極式液面検出

呼水槽の液面検出を電極式とし、呼水槽の満水・減水検出が標準で可能です。

●ステンレス製呼水槽へ変更可能



高品質呼水槽

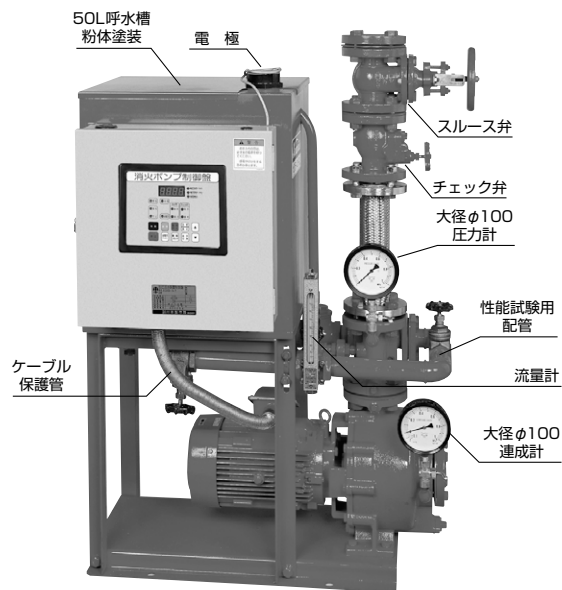
■メンテナンスが容易

●見やすい計器類

ポンプ性能確認に見やすいデジタル式電流・電圧計を採用。圧力計・連成計はφ100の大径タイプを標準。

●点検面同一

一方向(盤面側)からすべての計器をチェックできます。

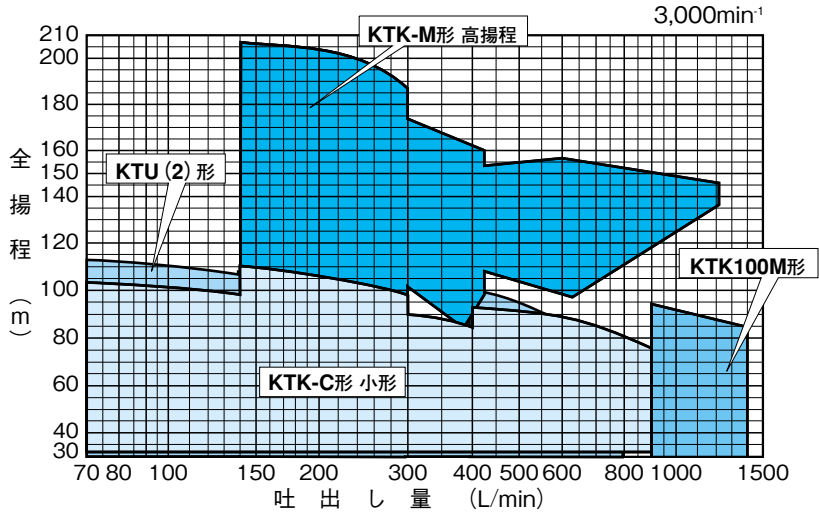


KTK-C形の場合

消火ポンプ総合

●機種別一覧 消火ポンプの代表機種の一例です。他の機種については本文をご覧ください。

■2極タービン選定図



2極タービン

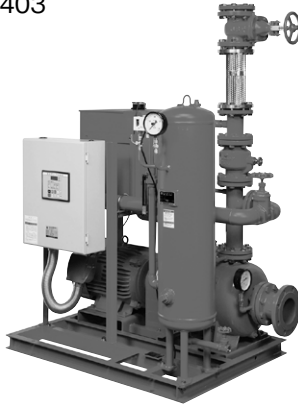
KTK-C形 小形

P.385



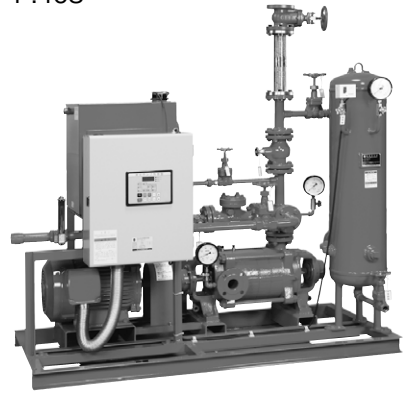
KTK100M形

P.403



KTK-M形 高揚程

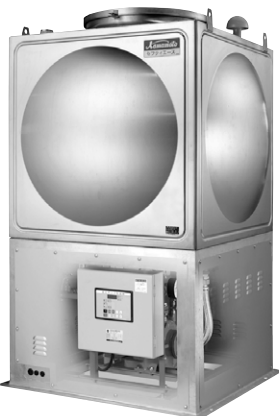
P.408



特定施設水道連結型スプリンクラー消火ポンプユニット

KTT形

P.371

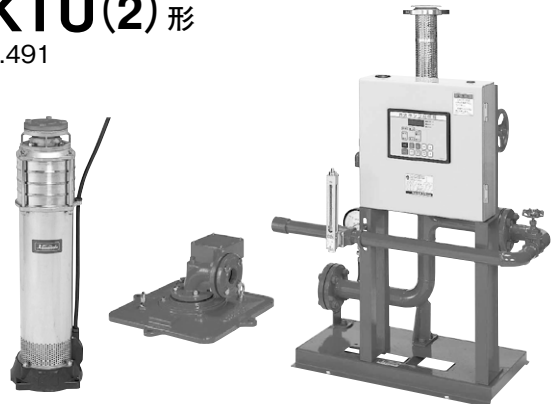


補助水槽1m³タイプ
(写真は透視イメージです)

2極水中タービン

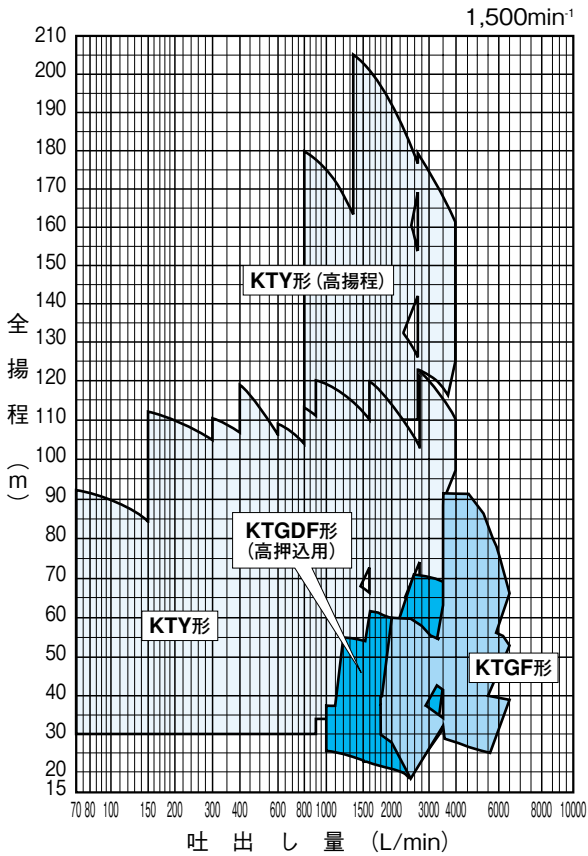
KTU(2)形

P.491



消火ポンプ総合

■4極渦巻・タービン選定図



4極渦巻

KTGF・KTGF形 高押込

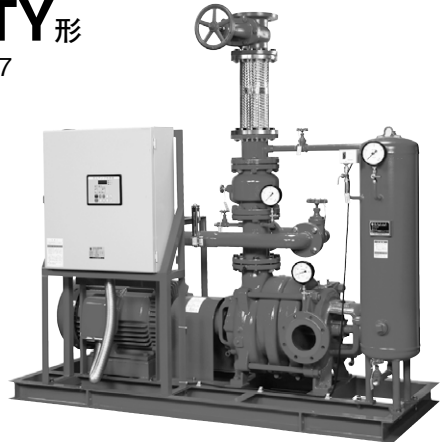
P.416



4極タービン (多段渦巻)

KTY形

P.427



製品を安全に、長期間安心してご使用いただくための大切なお知らせ

当社が製造・販売いたしております加圧送水装置（消火ポンプ）は、一般的な機器と異なり、平常は長期間稼働しない機器であるため日頃の維持管理が非常に重要になります。

火災発生時の初期消火を担う重要な設備であることも踏まえ、よりご安全に長期間安心してご使用いただくためにも、半年毎の法令点検に加え、取扱説明書に記載の「保守・点検」事項を参照いただき、機器の維持管理・メンテナンスを日常的に実施していただきますようお願いいたします。

▲ 警 告

- 防火対象物の関係者は有資格者により、「消防法」で定められた法定点検を必ず実施してください。また、弊社推奨点検も併せて実施してください。定期点検を怠ると火災の際にポンプが正常に動作しないことがあります。

<参考法令> 消防法 第17条の3の3
 消防法施行令 第36条
 消防法施工規則 第31-4

- 制御盤の点検時には必ず元の電源を切ってください。感電やけがをすることがあります。
- 試験・点検後は必ずバルブ・制御盤を元の状態に戻してください。

消防用設備は消防法により、下記表の法定点検及び報告が義務付けられておりますが、消火ポンプは、火災が発生した際、確実に始動しなければならない設備のため、法定点検以外にも弊社推奨点検を実施してください。長期間ご使用されている設備の場合は、特に各部品のメンテナンス等、維持管理を行ってください。

消火ポンプは常時使用されるものではなく、火災が発生した際は確実に始動しなければならない設備のため、当社ではポンプを自動的に運転し点検を行う自動点検運転機能を用意致しております。

ポンプが回転しない、もしくは回転がスムーズでないなど異常を発見したら、ご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。また、弊社推奨点検を実施する際は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。

<法定点検>

点検	期間
機器点検	6ヶ月
総合点検	1年

<推奨点検>

点検	期間
作動点検	1ヶ月に一度以上
分解清掃	2年に一度以上